

新潟県

公民館月報

昭和60年6月号

発行所 新潟県公民館連合会

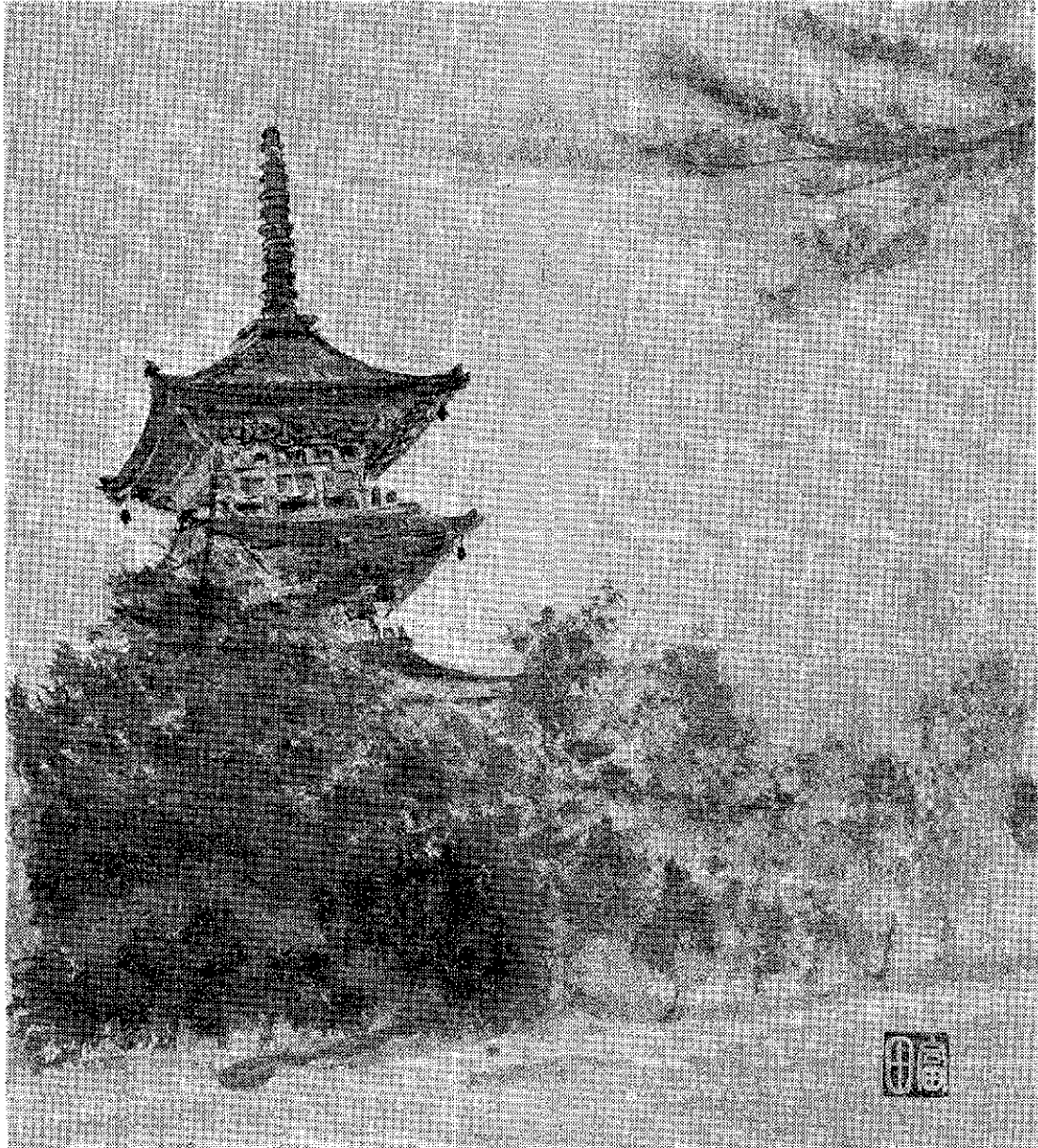
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【電話・新潟（0252）24-6073】【振替新潟0-4049】

発行人 会長代行 佐藤 眞 武

編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 120円 年共 1,440円】



五智国分寺の塔

五智国分寺は、奈良時代、聖武天皇の勅命により、僧行基が開基したものが、現在地ではなく、その所在地には諸説があつて明確ではない。永禄五年、

上杉謙信が現在地に移築したが、元禄二年と寛政六年の火災で焼失。そのまま数十年が過ぎ、天保年間によりやく本堂を再建することになった。

三重の塔は、安政三年、高田善光寺町に住む棟梁、曾武川常右エ門が再建を引き受けたが、元治元年、病に倒れ、中止のままになっていた。明治十一年ごろから、西頸城郡名立町の宮大工、通称江崎長三郎・規定兄弟があとを受け継いだ。が、なぜか、初重の高欄や釣縁など、未完成の部分が残されている。

高さ二五・八五メートル、美しい屋根の曲線と複雑な組み手、どっしりとした安定した容姿を見るにつけ、建築に当たった棟梁の非凡さがうかがえる。

絵 上越市公民館

すみえ教室 富田 敏雄

文 上越市社会教育指導

員 笠原 義郎

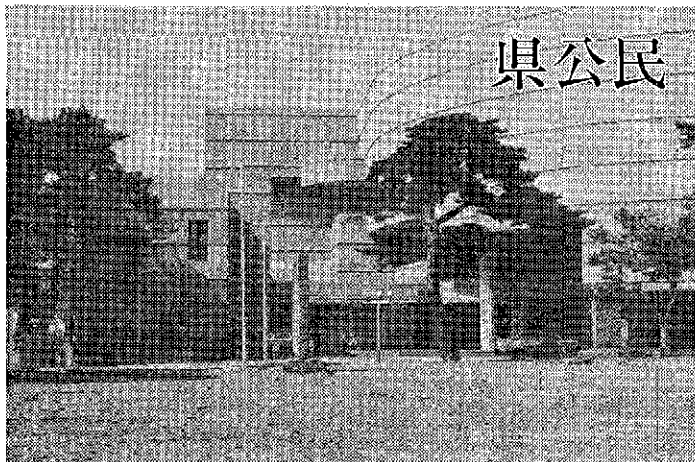
「生かそうボーナス計画貯蓄」

夏期特別貯蓄運動実施中・新潟県貯蓄推進委員会

生涯教育推進に焦点

全公連答申の田代教授が講演

県公民館大会近づく



(県大会会場となる新発田市民文化会館・公民館)

ことしの県公民館大会は、七月二十六日(金)新発田市民文化会館・公民館で開催されることとなった。本会では、かねてより主管となる下越公連・新発田市公民館等と協議を重ねていたが、このほど別記のような開催日程をきめ、県内公民館に開催要項を発送し参加要請をした。

ことしの大会テーマは「生涯教育推進の基幹的役割を果す公民館活動のあり方」とし、基幹的役割とは「生涯教育時代」に即応した公民館のあり方」をまとめた大東文化大学教授の田代元祐を講師として、「全公連専門委員会の答申と今後の課題」と題し、一、答申作業の経過、二、答申の検討とその意味、三、未処理の問題と対策案等について二時間三十分をわたって講演することになっている。

このほか、県生涯教育推進会議がまとめた「県生涯教育推進基本理念」でも、まず、市町村の教委が比較の生涯教育推進の先進地たる中公民館を軸に迅速に生涯教育推進を遂げるよう提言しており、あらためて公民館の存在意義がクローズアップされている。

ことしの県公民館大会は、七月二十六日(金)新発田市民文化会館・公民館で開催されることとなった。本会では、かねてより主管となる下越公連・新発田市公民館等と協議を重ねていたが、このほど別記のような開催日程をきめ、県内公民館に開催要項を発送し参加要請をした。

このほか、県生涯教育推進会議がまとめた「県生涯教育推進基本理念」でも、まず、市町村の教委が比較の生涯教育推進の先進地たる中公民館を軸に迅速に生涯教育推進を遂げるよう提言しており、あらためて公民館の存在意義がクローズアップされている。

大会講師

田代教授の横顔

第36回県公民館大会における基幹的講演者として来県することになった田代元祐教授の略歴と実績は次のとおり。



著書 社会教育 (岩崎書店)
教育実習 (同) 日本人の社会形成

公民館から見えた日本の社会教育(全国民館連合会)等々。
全公連との関係、全公連専門委員として「公民館のあるべき姿と今日の指標」策定に参画、全公連第五次専門委員会委員長として「生涯教育時代に即応した公民館のあり方」に関する答申づくりの中心として活躍、現在、月刊公民館編集委員会委員長。

(誠信書房) 国づくりの教育(同)
新社会教育論(第一法規出版) 公民

※

※

第五次専門委員会答申 生涯教育時代に即応した公民館のあり方から

もともと社会教育は、時代の変化を予見し住民がその生活を守り、発展させるのに必要な教育課題をとらえて、適切な学習の機会と場を提供しその成果を地域に還元することを本旨とするものであり、それは学校教育とともに生涯教育の中核をなすものである。

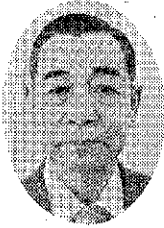
公民館はその実践の中核機関としての任務を課せられている。(第一部総論による)

かつて全公連の第一次専門委員会は、公民館の目

的と理念を、①公民館活動の基底は、人間尊重の精神にある、②公民館活動の核心は、国民の生涯教育態勢を確立するにある、③公民館活動の究極のねらいは住民の自治能力の向上にある、と表現した。この基本的視点は、今日もおおきく生きている。ただ変化してやまない現代社会においては、それらを静的に解釈するだけでは不十分であって、より動的な見方と方向づけを行う必要を生じている。(第二部、1 公民館の理念による)



まもなく二十一世紀に到達し
よちよち今日の社会は、科学
のめざましい進歩に促され急激
に変化している。すでに一九〇
〇年代から始まっているエレン
トロンクス化



が全面的に進
展してゆくと
社会はとうな
つていくのか
誰も予測でき
ない。またロ
ボットの出現

昨午全連の第五次専門委員
会の「生涯教育時代に即応した
総括として「二〇〇の指標」

人間性尊重の精神

山際 先

よって、人間でなければでき
ないと考えられていた仕事を計
画したり、判断したり、創造し
たりすることができるようにな
り、人間はますます高度な学習
をしなければならなくなった。
われわれは時代の変化を予見
し、住民がその生活を守り、第

展開させるのに必要な教育課題を
とらえて、適切な学習の機会と
場とを提供し、その成果を地域
等に。
内容的にも公民館の理念、管
理運営、職員、事業、行財政に
ついて具体的な説明がなされ、
総括として「二〇〇の指標」

公民館のあり方についての答
中内容が発表され、公民館のあ
るべき姿が解明された。
1 職業生活の変化
2 住民の価値観の多様化、要求
内容の多様化、高度化
3 衣食住の変化、多様化
4 人間相互の関係が薄らぎ地縁
れた時はお話し、結婚は教会
死と仏教、生活の都合により
いろいろ変わる。苦しい時の神頼
み、願いがかなえられなくても信仰
する人は多い。物欲的・利己的
である。精神や心の教育をおろ
そかにしたら、社会教育も偽作
って現れやすくなるような気が
してならない。(安田町中央
公民館長・本公理事)

つ提言」が行われている。
さて、こうした情況の中で人づ
くりを進めてゆく過程で特に重
要なのは人間性の回復と、人間
尊重の精神である。
今日、日本人ほど宗教心が欠如
している民族はないという。
神社や仏閣は多いが親光的。生
れた時はお話し、結婚は教会
死と仏教、生活の都合により
いろいろ変わる。苦しい時の神頼
み、願いがかなえられなくても信仰
する人は多い。物欲的・利己的
である。精神や心の教育をおろ
そかにしたら、社会教育も偽作
って現れやすくなるような気が
してならない。(安田町中央
公民館長・本公理事)

県大会日程のあらまし

日	程		
9:00	11:00	13:10	15:30
10:00	12:30	13:30	16:00

受	開表	講	昼	ア	パ	閉
付	会彰	演	食	シ	ネ	会
	式式			ョ	ル	
				ン	議	
				ク		

基調講演
「生涯教育時代に即応した公民館のあり方」と今後の課題
講師
全公連第五次専門委員会委員長
大東文化大学教授 田代 元弥 氏
パネル討議
テーマ「生涯教育推進の基幹的役割を果たす公民館活動のあり方」

立	場	所	属	氏	名
構	利用者代表	主婦(新発田市)		山原智恵子	
	類似施設代表	新潟市木戸地区セ ンター運営委員 会会長		増井 末次	
成	カルチャーセ ンター	NHK文化セン ター営業所長		本間 金三	
	公民館職員	黒崎町公民館主 事		高井 琢平	
	研究者	越前教育大学教 授		前田 幹	
	市町村理事者	豊栄市長		石井 耕一	
	司会	BSN アナウンサー		池葉 宏	

参加者は、別に定める様式の中込書(市町村ごとにとりまとめる)に、参加者一人につき1,700円を添え、7月5日までに大会現地事務局に申し込んでください。

大会現地事務局
〒957 新発田市中央町4-11-7
新発田市民文化会館・公民館内

女だから……女のくせに……

さる五月一日、朝日新聞に掲載された森山真鳥さん(参議)といふようなものであった。
「女のくせに……」
あれから五年、そして今年はいよいよ五年の最終年を迎えた。森山さんは婦人少年局長時代に「女性の保護をすすめて平等」という世論の端緒を切られた方でもあった。
新聞に掲載された森山さんの「女性たちがほしいと願った法も問もなくできるし、条約も批准される。その上で実際の平等を勝ちとるには女性たちの努力が問われるわけで、これからの方がむしろ大変だと思えます。まず女自身が意識の面でも変わっていかなくては、男性を変えていくこともできないわけで、」と結んでおられる。

公民館番頭日記

公民館で作成した資料や文書作品集または顕彰などを思送ってくださいませんか、県内の皆さんへも紹介してまいりたいと思ひます。
投稿歓迎
感想文でも結構、折にふれて気軽にペンを走らせてください。採用された作品を差し上げておきます。
――編纂部――
この会議には、私たちが中央公民館・婦人セミ受講生の柴野和子さんが、新潟県代表として「婦人の十年と私たちの活動事例」を発表した。この時、柴野さんの提出レポートの内容について随分卒直な意見交換をしたが、その時の私の意見は「婦人の地位を低くしている原因には大きく分けて二つある。ひとつは私に女だから」という婦人自身の意識と、もうひとつは女のくせに」という新聞、高橋孝雄先生等が活躍を続けておられ、私の尊敬する婦人のひとりである。(柏崎市中央公民館 参事兼事務局長 徳岡助夫)

の課題と展望 第7回全国公民館研究集会分科会から

導者研修会開催・青少年教育活動・文化祭・グループ団体の使用・分館事業の促進

(3) 今後の課題

- ・指導者の発掘と確保——人口急増のなか、むずかしいが、極めて大切。
- ・共催事業の開設町行政各課事業との連携
- ・分館の活用と運営
- ・公民館職員の充実
- ・利用者の組織化

(5) まとめ

行財政改革の影響は社会教育・社会福祉に大きい。

公民館人として、管理運営に検討を加え、心を育てる教育活動に重点を置き、社会教育の原点である「共に学び、共に教え合う相互教育」を見直し、住民が学習の喜びと、生相に潤いを持ち、地域社会の発展に尽くしてもらえりような公民館活動を目指して、努力しなければならない。

また、人的生は社会教育法の改正を実施し、公民館長及び主事を必置することが急務である。

2. 質疑応答

(1) 営利を目的にしたり、宗教関係、政治団体関係者への公民館の貸し館はどのようになっているか。

- ・(発表者1) 営利目的者でも、小さい町のことなので話し合いの上で貸す。但し、料金は3倍とする。・宗教関係はそんなないが使用させる。
- ・(発表者2) 基本的には営利関係事業には貸さない。・政治団体の場合は多くの人々を取容できる施設が中央公民館しかないということで、有料で貸す。

(2) 一般成人や青少年の参加が大変少ない。老人・婦人の公民館から脱皮する手立ては?

- ・(発表者1) 職業の多様でたしかに限界もあるが生活活に直結した活動を重視し、集落公民館を中心に参加しやすい状況をつくる。しかし、職員の情熱の問題とも考えられる。
- ・(発表者2) 地区館を建て、絶えずそこに人を置くように、社会教育委員の力をおかりしながら勤務態様を工夫している。人がおれば人が集まる。又、同じ内容の事業を午前・午後・夜などと開催することにより、いろんな立場の人が参加できるよう努力している。

一助言者一

公民館の使用は公的施設であるために断わることは大変むずかしい。しかし、使用許可を決定するにあたり①民主的であり片寄らないこと②地域の平和を乱す怖れないこと、という条件をはっきりさせることである。

3. 討議内容

(1) 生涯学習のなかで公民館のあり方を試行錯誤している。

今後どのような機能を持ち、どのような働きをすべきかを考えていきたい。我々の使命は「学習の場は家庭にある」と認識しこつこつと学ぶ人づくりに努力することであろう。情報が四方八方から入る時代である。放送利用の学習をすすめるなかで各種問題は自分の手で解決できるようテ

レビの横には地図や家庭文庫を置く様にすずめたい。行政の方でも記念品等は辞典など生涯学習の点から考慮したものを出すことである。

(2) 在学青少年の社会参加事業についても学社連携の中で積極的に推進する必要があるが、子ども会活動は別として中高生に対する主催事業まではなかなか手をつけられない。

(3) 教育は人なり……ということであり公民館職員には優秀な人材を配置すると共に、その待遇についても十分配慮することを望む。せっかく主事になってもすぐ配転があり腰を落ちつけて社会教育に打ちこめない実態である。又島流しを感じをもつ町村もある。教育委員会自体の方が弱く、行財政のしわ寄せがもるに社会教育に響く傾向が強い。

(4) 公民館長は専任であることが望ましい。しかし、実態は兼務が多く、十分に手がとどかないという点で問題がある。財政改革の進むなか、この傾向が強くなってきたが、公民館運営の力で専任制・主事を手にしたという例も発表あり。公民館運営こそ公民館を守り育てる任務があると理解し、先頭に立って当局にぶつかるべきである。

(5) 分館・地区館の役割は今後益々重要視される傾向にある。しかし、職員の配置はないので自治会長等と十分な連携をとり、自主運営ができるようにすること。全体の連絡調整は社会教育目標を念頭において中央公民館がおこなうことであり、それほどむずかしいことではない。

(6) 社会教育団体として認定した団体には施設の鍵を渡し、一定の部屋を開放する方向で団体の育成と活動の推進を図り、職員の夜間勤務の解除をすすめている自治体もある。

(7) 部会名は「管理運営」とすべきではないか。

4. 助言者のまとめ

(1) 社会教育委員の中には委員会としての権力を欲しがっている人がいるが、権力を持たないからこそ住民の側に立った活動が可能だと考えればむしろやり易いと言える。

(2) 公民館主事がどんどん町村部局に引きぬかれることは運営上困ると言うが、それだけ優秀な人材がいるということで、ありがたいことでもある。落ち着いて仕事にあたるよう社会教育関係で栄進のコースがある程度きまっていると安定した職場となる。

(3) 館長の問題は専任を望む公民館側ではあるが非常勤でも立派な人が多く、結局は専任、兼任等の問題というよりもむしろ人の問題であると言えるのではないか。

(4) 公民館職員の資質の問題は自ら学ぶという姿勢が基本となる。公民館発展の為、ぜひがんばって欲しい。又、教育長をはじめ行政当局も社会教育の重要を認識し、公民館への支援を強力にしてもらいたい。

(5) 生涯学習では公民館側は住民に学習の場を提供するという教育活動とあってよい。住民への援助活動とみる。

(6) 公民館の位置の問題や事業期日や時間の問題等で活動に参加できにくい住民や無関心な住民への対応についても、分館・地区館活動を含めて、地域にあった方法を検討してほしい。

町村における公民館の管理・経営

第7回全国公民館研究集会在昨年10月18日・19日「生涯教育推進の中心的役割を果たす公民館活動のあり方」をテーマとし福井県武生市で開かれた。設定された25分科会のなかから、いくつかを選び、内容の一部を要約して紹介していきたい。

助言者 前橋育英短期大学教授 玉井 成光
 司会者 三重県河芸町中央公民館長 加藤 八郎
 基調発表者 1. 山形県最上郡真室川町教育委員 会社会教育課長 結城 英雄
 2. 奈良県斑鳩町中央公民館社会教育主事 栗本 裕美

1. 基調発表

(発表1) 町村における公民館の管理経営の課題と展望

(1) 公民館体制

本町は、自然環境に恵まれた人口約19,000人(世帯数約3,000戸)の町である。

町民憲章のこころに基づいて、町づくりに努める人間性豊かな住民の育成を標榜し、生涯学習機会と場を提供し、いつでも、どこでも、だれでも、何でも、学べる体制づくりをしている。特に、住民の学習活動が実践活動となること(生活化)を基本に、分館活動の充実を第一義に「社産教育の効果」を強調している。

(2) 公民館の概要

中央公民館(鉄筋コンクリート一部4階建2,429㎡、職員3名)のほか地区館2、分館(部落館)50館がある。しかし、職員体制、施設、設備、予算すべて未整備な分野が多い。

(3) 公民館の管理・運営

① 基本方針

社会教育方針に基づき生涯学習の場として学習意欲の醸成を図るため、地域の課題を把握し、豊かな住みよいまちづくりをめざして活動する。

② 重点目標

- ・町民に親しまれる公民館として、施設の機能を充実し、特に、中央公民館を核として各集落にある地区館の活動を充実させ、地域住民の自主的な活動を高める。
- ・関係機関、団体と互いに補完しながら共通課題の解決と地域づくりを図る。
- ・青少年の健全育成をはかる。
- ・視聴覚教育、放送利用学習を推進する。
- ・成人の学習参加を推進する。
- ・スポーツ・レクリエーション活動の生活化日常化を図る

(4) 公民館の事業

住民の声を反映させ、公民館運営協議会の意記を充分にとり入れ、企画、運営する。

① 啓発事業

- ・公民館だよりの充実
- ・生涯学習啓発資料の刊行
- ② 年代層に応じた学級・講座の開設
- ③ ふるさとづくり実践活動
(VTRスクーリング、パソコン入門、カメラセミナー、日曜園芸、絵図教室、郷土史講座)
- (5) 今後の課題(展望)
・住民の要求が多様化し、生涯教育センターとして中央公民館を位置づけることに施設、設備など不十分である。
・集落の公民館を充実させるための、人材の確保が困難である。
(展望)
総合調整に活路をみつけたい。社会教育に關する事業の体系化、類型化を試み、他の施設との機能の相互を補完しながら、地域に根づいた公民館活動を展開する。

(発表2)

(1) 概況

斑鳩町は、奈良県の西北部に位置し、近畿圏の中枢をなす大阪市へは、国鉄で約15分という至近の距離からベッドタウンとして、昭和30年後半頃から人口が急増し、都市的發展をとげ、昭和22年の1町2村合併当時12,000人だった人口も今は27,000余人となっている。面積は14.58km²と比較的のさい行政区域の町である。

文化財は世界最古の木造建築として残っている法隆寺が代表的である。

(2) 公民館の整備

- ・昭和36年度……中央公民館建築(鉄筋コンクリート、一部2階建て……国庫補助)
- ・人口増加に伴い利用者増大。学習内容も多様化し、設備が不十分となる。
- ・昭和57年、58年の2カ年事業で、新しく中央公民館を建築する。
斑鳩町中央公民館(鉄筋コンクリート造・3,146㎡)
空間の有効な活用——ロビーに余裕を
——廊下に展示施設
住民が自由に入出りでき、親しまれる公民館をめざす。
- ・公館——13館……分館整備には、町で建築補助金規程を制定し、整備促進を図る。
- ・その他——23館……集落単位の集会所
- ・予算——公民館費総額(52,105千円)
・内訳 { 人件費(20,826千円)
事業費(14,518千円)
管理費(16,761千円)
- ・職員——館長(教育長兼務)1名・公民館主事4人(うち社教主事1名)・用職員1名・社会教育指導員1名・臨時職員2名
- ・開館——開館時間(9~22時)・休館日休館日(水曜日・年末年始)……火曜日午後は社会教育課職員が勤務
- ・運営——教室講座の開設(14教室)・同和教育指導者研

柏崎市黒姫公民館



(柏崎市黒姫公民館全景)

新生公民館繁盛盛記

(48)

「新生公民館繁盛記シリーズ」は今回で一応終了し、次回より「公民館活動実践活動シリーズ」として再出発することになりました。

青年の芽を育てたい

後継者づくりの拠点として

昭和五十年以来柏崎市の長期発 常勤で何が出来るであろう」と 展計画に基づき二十四地区公民館を 思われ勝ちであるが、全市八五五 目標に「今年二館宛の新設を実施 千の人口に二十四館計百六十八名 黒姫公民館はその九番目に 非常勤職員となると見捨たもの 新築されたもので今年は六年目に でもない」と口負している。 本年七月前館長任期満了の後を 継ぎその活動を継承しつつ次の



(ママさんのお料理教室)

地域課題の発掘と学習計画の蒸留 めに取り組んでいる。課題として 浮上するものに ①青少年を対象とした教育計画の 実施が反響される。 ②施設運営の内容の分析と民意の 安定のため。 ③後継者づくりと青年化社会のひ つみのみならず、 ④若者の職業をなげと兼業。 等々問題は山積されている中に新 しいコミュニケーションへの意と 希望を求めている地域住民のため の公民館の在り方は極めて重要で ある。祭りや体育行事を実施して みるべしと、青年層の参加が多 く日頃過疎地の代名詞的当題が うそのように聞かせる。 青年は大半「集まりたいのだらう か、なぜ集まりたいのだらうか 集まるよさを知らなければならぬ か、集める側の問題はないかど うか。 私の地域の若者達は小粒な集まり 乍ら結構集まっている。色々な 種類の集まり方で、これが祭りや

体育大会、地追いという大がかり な行事となると断然力量を発揮す る。 公民館はこれ等小粒な集まりの ひろひろの求めに応じ乍ら時 には大粒なかたまりに触れさせ てを来その成長を促すべしと待 つ。今年は国際青年の年この期に 黒姫地区公民館こそそれぞれ立 場を青年を見つめる事を言いたい と思っている。 少年達は個人形づくり、その人形 を使って創作劇・地区に伝わる郷 土の民話にしたい、 婦人達は手造り農産物の料理法や 家族の健康管理の知識を求め、 高合者は自分からの新しい生き 方を究めつつ後継者づくりに協力 することにより、住み良い地域づ くりを考え合う結び合う、そのた めの公民館は拠点となりたい。 こうして新館設立以来次第に公 民館は地区住民の再認識を得ながら 徐々にその成果を納めつつあり、 地区指導員は次第に行事のため多 忙になり住民から益々信頼の度を 増し、住民自らが行動を始めつ つあることはいよいよことであ る。

公民館活動実践記録・原稿募集

「新潟県公民館月報」の年間継 続特集記事として地域の公民館の 活動実践記録を掲載していくこと になりました。 貴館の日ごろの活動のなかから、 住民に最も親しまれている事業、 または最も成果のあがっている と思われる学級・講座等の企画 からましについて全公民館人の参考 になる、親しみやすいレポートを ご送稿くださるようお願いしま す。 なお、運営審議会委員・一般参加 者のなかから感想文として随想風 にまとめていただけたものを添 えていただければ幸いです。

- 1. 執筆テーマ
- 公民館事業ひとつの実践記録 (予算・事業・施設・運営も含む)
- 2. 執筆字数 専用原稿用紙10枚以内 (1,500字) 随想・感想文は5枚以内 (750字)
- 3. 関係写真 活動の様子を写したモノ・三枚程度、随想・感想文の場合は随 写真一葉
- 4. 原稿メロ切日 毎月25日
- 5. 原稿あて先 〒951 新潟市川端町2-9 県林業会館内 県公民館連合会 「県公民館月報」編集部あて

(黒姫公民館館長・田辺ゆき子)

公民館総合補償制度

公民館の実態に応じ、加入の種類は自由です。中途加入受付中!

公民館文芸



小川 長治

木戸口に横りし雪を捨て終り啓蒙の日の新聞を読む
やうやくに雪崩を捨ててつばみもつ梅の鉢を閉り出す
足跡の旅にゆかれぬ老妻に土産に買ひし遠野物語

小日向 敬子

苦しみの軌跡に俯くアフリカの子らの写真になすすべもなく
深い憂を受けているのは生き残った者の方だと談々という
悲しみも怒りもなくて空白の表情さらす軌跡の人等は

片山 ヒサ

暗き川面が火筒が舟の灯の行き交ふと見るに火筒舟のゆく
点火すと思ふや光は横走り湧き立つ瀑布映き盛る花
千万の火花は弾け大川の川面とよもし花咲き満ちぬ

久保田 きみ

花畑の流を見むとわが里の信州田舎の駅に下り立つ
巨野の瀬川にあらず幾万の黒き書きし願はかりとぞふ

小杉 カズ

きはいたち放ちしことばに優つかひ及ばざるのけの一日を思ふ
自らを生かせる道を選んまことに誇りつつ野に立つ

小林 ます

草もみろ敷るめて仰ぐ高空にまほめきひかり日曇るの薄く
房はしるす可きする袖を持ちも長靴はかす如くあややかに

鈴木 雅子

日の落ちて逆流なせる荒川にそそぎ雪の灰白く見ゆ
木洩れ陽は御田に落ちてたえまなく葉裏に揺らぎ光遊べる

砂山 頼子

見下せるレルヒの像も若人の雪煙の中はほほむ如く
束の間の日差し揺らしみこすもら雪のお山に集い駆けぬ

高島 みつえ

山間に聞ゆるものは鳥の声タムの水音遠き夫の声
すっぱりと山を包みし霧動きの奥処より郭公のなく

坪井 英子

尚窓に鈍き光の星一つ妖しきまでの夜半の静けさ
海猫の鳴き交す声の身にひびく白波立ちて荒るるひと日は

内藤 アサ子

谷添ひに茅屋根なびの保存さる平家落きて七百年で
邊西川に谷のせせりき聞ながらお狩り揚揚きなる炬をかこみけり

畑山 愛

木々ふかき中道行けば噂はみゆく中に一群つるしの紅し
房なして紅く実れるななかも戸毎に立てり信濃路ゆけば

藤 縄 糸

海と空見ゆる限りを灰色に溶け合ひ細かき雪降りつつ
かんじきの紐ゆるみ来ぬ目も口も開かぬ吹雪の道迷みゆけば

藤巻 サダ

燦すすらはたまたまに燈を失せなむか鏡に映る今朝の音が憂
朝露に蓬立ち柳並合歌のいつれも葉元玉の黄の花をもつ

古川 節

祝はれしことなきは救えぬを今日誕生日と思ひつつききむ
(上越市立公民館高田地区1/27 杉木立歌会作品から)

プロフィール

能生町公民館主事

田中道 夫氏 (34)

田中主事は、社会体育、学校開放、青年団体及び連絡調整会の係を担当している。

野球連盟やバレー協会を初めに余念団体を傘下に持つ団体としての努力は多くの人の認めるところである。

体協と共催する町民野球、駅伝マラソン等大きな大会も年間十を教え、参加率も千数百人に達している。当日の運営を始め、万般体協だけとはほかない。関係者の協力を得ての推進も、彼の人柄と力量によりスムーズに行われている。

また、文化体育館も年間延三万五千人が利用し、町営の球場も年間延七千人の利用者がある。

学校開放を含め、体育施設の利用登録団体は五十に及ぶ。

町の社会教育中期計画案定の作業が昨年来進んでいるが、彼の今後の活躍が大いに期待される。

好漢の一層の自軍と飛躍を願うものである。

(能生町公民館長岡野徹雄)



あの頃のこと

占領下の公民館 (2)

飛田一郎

公民館における「公民館編成」は市民に受け入れられず普及していった。附近の中根城、西根城、東根城等の町村公民館に呼びかけ、上越二帯にこの運動が進められていった。私も高田市中公民館では一日最高六組もの公民館編成を行ったことがある。この公民館編成は十年間続き、一千五組ほど実施して暮を閉じた。この公民館編成によって結ばれた人たちは、いま社会の中堅として活躍している。

公民館編成が終わった年、高田市中公民館スキー大会が開催された。この大会はスキー大会が開催されたことになり、私もはじめてカントリースキーを用いたスキー大会の経験に当たった。「距離」「回数」「滑降」「飛躍」と、四つのテーマを設定して製作にとり組んだ。当時はまだカラー写真は普及していません。写真は「カルメン故郷」に帰る」がはじめてのカラー作品であった。

この製作に当たっては、当時高田市中に在住した高田市民(写真家)を中心に行なわれた。このスライダを撮影するに当たってはH.O.の

視察指導員ジャクソン氏に依頼し、ヒラレックス(台)受部員をお借りして、高松の宮松宮様にお願いかけた。このとき、高松宮様からフィルムは何か、「幻燈機は何か」との二問があった。

その翌年のこと、スキー葬祥地にふさわしい「松明行進」を実施した。日本タキ、葬祥の地金谷山から市内の本町通りまで、日没の五時二十分を期しスキー部隊二十人、徒歩部隊二十人計三千人の大行進、先頭には音楽隊、消防車の行進という大デモンストラーション。この「松明行進」も京都の大火字焼きの向うを象徴行事として十一年余り続いたが、私の退職した翌年、この灯は消えた。よき行事は長年の積み重ねによって一つの伝統的な文化に生れかわるものである。

高田公園(元原)の一部に高田公園(旧借地)があり、その後この近くに小規模動物園が設置されることになった。そこで、この賞欄まる公民館の当りなげねばならなかった。トラ、クマ、サル、シカその他小動物を飼育して、しかし施設の不備のため、これらの動物がときどき檻を破って逃走することがあった。そのたびに公民館の職員は動員され、不眠不休の体制での捕獲作業に当らなければならなかった。ときには自衛隊の出動要請とか、警察官の出動とか、または消防署の出動まで要請するなど、動物園運動の

思い出も多い。トラ、クマ、サル、シカその他小動物を飼育して、しかし施設の不備のため、これらの動物がときどき檻を破って逃走することがあった。そのたびに公民館の職員は動員され、不眠不休の体制での捕獲作業に当らなければならなかった。ときには自衛隊の出動要請とか、警察官の出動とか、または消防署の出動まで要請するなど、動物園運動の

公民館叢書

未膳寺春三著 「公民館の原点」

四六判三〇八ページ 頒価一、二〇〇円 (送料一部二五〇円)

田代元弥著 「公民館から見た日本の教育」

四六判一三八ページ 頒価一、〇〇〇円 (送料一部二五〇円)

「公民館の原点」の著者、未膳寺春三氏は元会館理事。宮城、果本古町公民館長をもち、同県公民館協会会長などを歴任、同町を定年退職後上京して、鎌ヶ谷市中央公民館長に迎えられるなど、草創以来生きた日本の公民館人として活躍された人。

また「公民館から見た日本の教育」の著者田代元弥氏は、大東文化大学教授「公民館のあるべき姿」と今日の指標「高田委員」などに「生涯教育時代」に即した公民館のあり方「公民館協会」の専任委員を歴任、「月刊公民館」編集委員長としても活躍されている。本年原公民館大会における基調講演者。右の二冊、本会事務局であつせん。

市制五十周年記念として厚生会館が建設されたが、これもまた私の管理下に置かれることになり極めて多忙な時代となった。この施設でも同じようなものだが、これらの施設はほとんど「〇〇シエール」が行なわれた。また主催者との交渉、施設の規模に応じての入

米子市で開催された全国公民館大会の折、わが新潟県からは三十余名が市内の旅館の大広間で泊ることになった。翌朝のこと、政清三三和村公民館長が、大声で

動物会場の原の文書広報課にあり、四原ブロック会議などにはいつも引連れ出され、課長の飯田さんや増井県政事主事と三人で出かけることがあった。発表はいつも下手な私の役割で、いま思えば汗顔の

は、高田市の飛田館長。一といわれ、まったく驚いた。それ以来「いびき」について意識するようになった。

私が県公連会長になったのは、昭和二十八年である。歴代の会長はそれぞれ立派な見識をもつた人で功績も大きかった。それにくらべて四代の私は一番見おとりがす

もともと公民館は父の名はアメリカ、母の名は日本、しかも月たらずで生まれた無難児であった。占領下時代はそれでもアメリカの庇護のもとで進められたが、つい

もともと公民館は父の名はアメリカ、母の名は日本、しかも月たらずで生まれた無難児であった。占領下時代はそれでもアメリカの庇護のもとで進められたが、つい

に認知されないままに今日に至るまでいえる。しかし、四十年の歴史のなかで公民館は行政の中にしっかりと位置づけられ、立派な歩みが続いている。

私は昭和四十五年社教課長と公民館長兼務で健康を迎えた。厚生会館大広間に行政のワラを履いた公民館関係者二百名が集まり、送る会を催してくれた。私にとりて、二一代の栄光も前例のない盛栄といわれた。私はまでも公民館について限りない愛情を感じている。元高田市中公民館長、元原公民館長、上越市在住

いよいよ大急ぎで近づいてまいりました。まず七月二十六日新築市での県公民館大会を皮切りに、九月五・六日は宇都宮市での県公民館研究集会、十月十七・十八日は岡山市での全国公民館研究集会と続きま

す。申し込みたいのは、県公連研究集会が六月二十日と一ばん早く、次に原公民館大会が七月五日、全国公民館研究集会が七月三十日となっています。

県人会参加協賛新築市公民館の現地事務局へ受付、関公連全国研究集会はともにも原公連で一括受付することになって、まず、各公民館にお送りしてある要項をよくお読みになってからお申し込みください。(本)

あとかき